

あさがおのつるで

リースをつくろう！

札幌市立曙小学校 大室 道夫

壁に掛けられている『リース』。ちょっとしたアクセントになって、いいものです。また、クリスマスが近くなると、街角でよく『クリスマスリース』をみかけます。ぶどう・くずなどの「つる」を円く編んで土台を作り、それにいろいろなものをつけて飾ったものを『リース』と呼んでいるようです。

「先生！あさがお ぬきたくない…」

種取りの終わったアサガオを片づけようとしてきました。ところが、子どもは、抜きたがりません。「ぬいたら死んでしまうから、とっておきたい」と言います。

そこで、この『リースづくり』の活動を取り入れてみました。これには、子どもも納得。「自分のあさがおとっておけるぞ！」「部屋の飾りができるぞ！」



← 枯れた「つる」も大切です！

「つる」を円く輪にして、思い思いの飾りをつけていきます。 →



飾りに使うものは、身の回りから自分で探すようにさせるとよいでしょう。例えば、学校の回りや近くの公園で「まつぼっくり」などを集めたり、家庭にあるものを持ち寄ったり、色画用紙を利用したりできます。木工用ボンドでつけると仕上がりがきれいです。